

食卓で使う今月の作物

ミョウガ

Japanese ginger

ミョウガ(茗荷)の名は、自分の名前を忘れてしま
うほど物忘れがひどく名荷(名札)を下げていた釈
迦の弟子の墓に生えたことに由来するとか。汁の
実・薬味・漬物などに重宝します。

栽培のポイント

① 半日陰でやや湿った場所を好みます

木漏れ日の差す樹木の下などが最適です。市販の根
株を購入するか、3月頃に株分けした根を植え付け、芽
が出たら敷きワラなどで乾燥を防ぎます。

② 込み合ってきたら間引きします

多年草なので何年も続けて収穫できますが、根が
込み合ってくると収量が減ります。数年経ったら、冬の
間に30cmおきに溝状に根株を掘りとり、間引きをしま
しょう。

③ 軟化ミョウガを作ってみましょう

新芽が軟化したものを、ミョウガタケと呼びます。花
ミョウガを採る予定がない株に、高さのある箱や底穴を
塞いだ大きめの植木鉢などを被せて遮光します。

品種例 「陣田早生」など

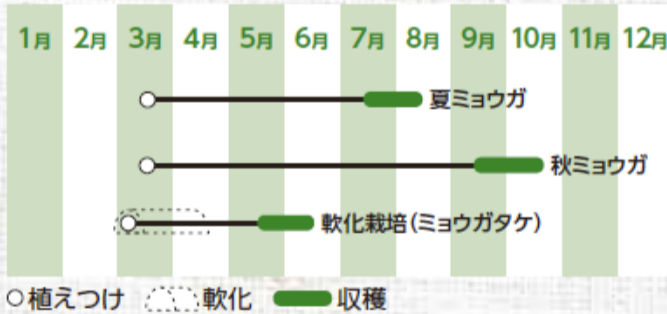


日当たりの悪い畑や庭の隅などでも育ちます。あると便利な夏の薬味です。



西播磨営農生活センター
営農指導員
永濱 悟

栽培カレンダー



いまさら聞けない農作業のコツ!

花芽分化の条件いろいろ

植物に花芽のもとが出来ることを「花芽分化」と言い、花芽が育ってトウ立ちすると、葉菜類や根菜類では商品価値が下がります。花芽分化と花芽の生育には、日長や気温・栄養条件などが複雑に関係しています。

主に温度が関係する野菜では、ハクサイやダイコンは種が水を吸った段階で、キャベツやタマネギ・ニンジンなどは植物がある程度育ってから低温に遭うことで分化が始まります。高温が影響するものには、レタスやスイートコーンがあります。

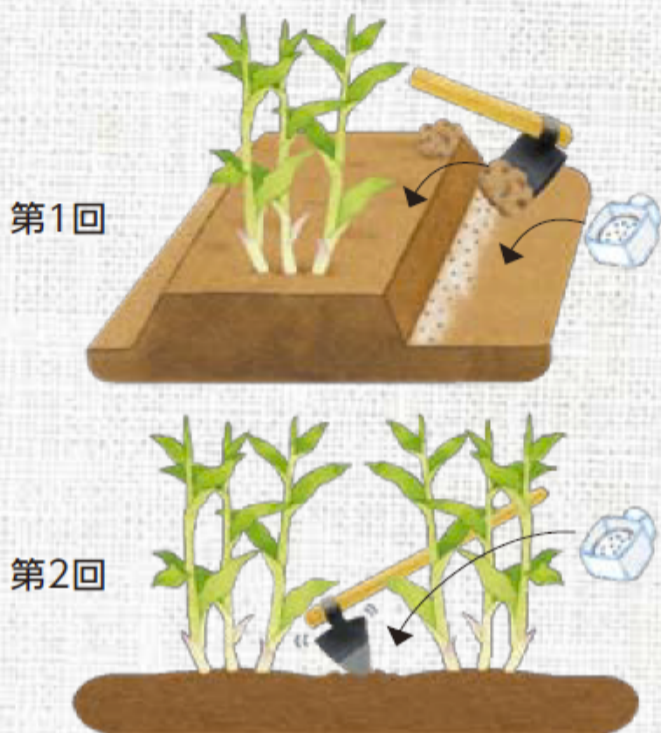
そして、日長(夜の長さ)が関係する野菜では、キュウリやカボチャの雌花、イチゴなどは短日条件で、ホウレンソウ・シユンギクなどは長日条件で花芽分化します。また、トマトやナスなどのナス科植物と、エンドウを除くマメ科の多くは、特定の温度や日長を必要としないので中性植物と呼ばれています。

野菜の品種によっても必要な温度や日長は異なりますので、種をしっかりと選んで種まき時期を守ることが大切です。



3 追肥

- 草丈20~30cmに伸びたころ、第1回追肥として化成肥料大さじ3杯(畝の長さ1m当たり)畝間に追肥し、軽く土に混ぜ込む。
- 1回目の1カ月後に化成肥料大さじ3杯(畝の長さ1m当たり)を施す。畑全面に株が広がってきたら、葉にかけないように全面に化成肥料をばらまく。



1 準備

- 冬の間堆肥と石灰をばらまいて20cmくらいの深さに耕しておく。
- 1㎡当たり、堆肥バケツ1杯と石灰大さじ3~5杯を施す。
- できるだけ根を付けて株を掘り上げる。



株の周りにシャベルを深く入れて根株を掘り上げる
初めてのときは市販の根株を購入する。

防乾材と一緒に
入っている

4 敷きわら・灌水

- 芽が出始めたころ全面に稲わらか乾草を敷く。乾きやすい畑では乾燥期には水をやる。



5 収穫

- 根元からツボミが出てきたら収穫する。

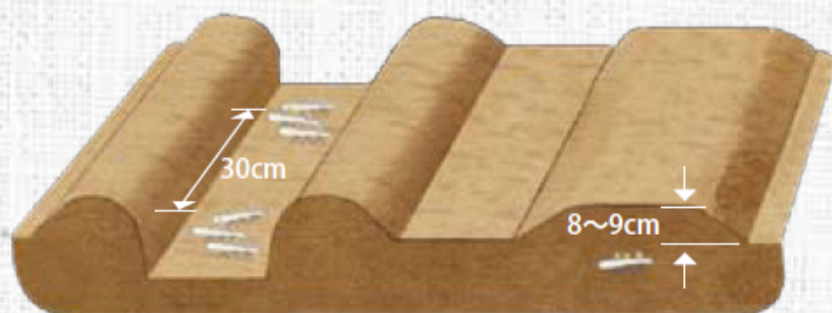
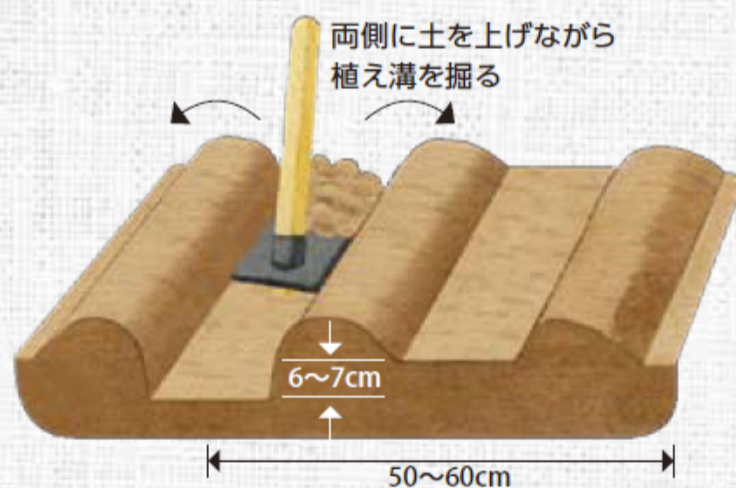


○ふっくらとして中がよく締まっているとき、遅れないよう収穫する。開花してしまうと品質を著しく損ねる

×収穫が遅れると花が咲く

2 植え付け

- 両側に土を上げながら植え溝を掘る。
- 根株は1カ所3本くらいずつ5~6cm間隔で植え付ける。植え終わったら8~9cmの厚さに覆土する。



✂ キリトリ線に沿ってお切りください